

電気設備工事特記仕様書

I. 工事名称

大木町総合体育館空調設備等機能改善工事

II. 工事概要

1. 工事場所

福岡県三潁郡大木町八町牟田 617-1

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	防火対象物の種別	備考
体育館	一部鉄骨造	2	3956.23	1項（イ）	

3. 工事種目

（○印を付けたものを適用する）

工事種目	建物別		工事種別		備考
	体育館				
○電灯設備	改修	一式	一式	一式	
○動力設備	改修	一式	一式	一式	
・電気自動車用充電設備		一式	一式	一式	
・常保護設備		一式	一式	一式	
○受変電設備	改修	一式	一式	一式	
・電力貯蔵設備		一式	一式	一式	
○発電設備	改修	一式	一式	一式	
・構内情報通信網設備		一式	一式	一式	
・構内交換設備		一式	一式	一式	
・情報表示設備		一式	一式	一式	
・映像・音響設備		一式	一式	一式	
・拡声設備		一式	一式	一式	
・誘導支援設備		一式	一式	一式	
・テレビ共同受信設備		一式	一式	一式	
・監視カメラ設備		一式	一式	一式	
・防犯・入室管理設備		一式	一式	一式	
・火災報知設備		一式	一式	一式	
・中央監視制御設備		一式	一式	一式	
・遠隔量水器設備		一式	一式	一式	
・		一式	一式	一式	
・		一式	一式	一式	
○構内配電線路	改修	一式	一式	一式	
・構内通信線路		一式	一式	一式	
・		一式	一式	一式	

III. 工事仕様

1 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

（1）「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（2）「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（3）「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（4）「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（5）「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（6）「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（7）「公共住宅建設工事共通仕様書（令和4年版）」

国土交通省住宅局住宅総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

2 補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

（1）「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修

（2）「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修

（3）「建築工事標準詳細図（建築工事編 令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修

（4）「電気設備工事監理指針（令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（5）「機械設備工事監理指針（令和4年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（6）「建築工事監理指針（令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（7）「建築改修工事監理指針（令和7年版）」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（8）「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」

独立行政法人 建築研究所監修

（9）「建築工事安全施工技术指針・同解説」

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修

（10）「建設廃棄物処理指針」

厚生労働省生活衛生局

（11）「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」

厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課

（12）「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」

環境省環境再生・資源循環局

（13）「建築工事の手引き」

福岡県建築都市部編集

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

3 特記仕様

（1）該当する項目のみ適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は、○印のついたものを適用する。

項目

① 機械

この工事に使用する機材は、監督職員の承諾を受ける。
なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。
また、機材の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。

② 電気工作物

・ 一般用電気工作物 ○ 事業用電気工作物

③ 電気保安技術者

電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。

④ 工事に必要な資格
(建築業法に関するものを除く)

○ 第1種電気工事士 ○ 消防設備士甲種 4類

⑤ 官公庁その他への手続き

⑥ 監督員事務所

⑦ 工事用電力・水その他

⑧ 総合設計計画

⑨ 足場・構台

⑩ 仮囲い等危険防止措置

⑪ 工事表示板等

⑫ 工事車両の出入り口

⑬ 残土処分

⑭ 他工事との取合い

⑮ 再使用機器

取外し再使用機器は、原則として清掃並びに絶縁抵抗測定を取外し前後で行った後、取り付けること。
但し、絶縁劣化等再使用に附えない場合は、監督職員に報告すること。

⑯ 耐震施工

設備機器の固定は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針」（2014年版）によるものとする。
(1) 設計用標準震度（Ks）

機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により以下表より求める。

設置場所	耐震安全性の分類	
	特定の施設	一般の施設
	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)
地階及び1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)

() 書きの数値は防振支持の機器の場合に適用する。

(2) 耐震安全性の分類 ○特定の施設 ・一般の施設

(3) 地域係数 (Z) 地域係数 (Z) は、1.0とする。

・ 環境対応型合成樹脂製可とう管（PE管）の一種管とする。
打込配管として使用する場合、原則として呼び径を22までとする。
また鉄筋等への結束や配管の支持を行う場合は、樹脂被覆を施したバインド線を用いること。

○ 金属製（防水形配線器具を除く） ・樹脂製

屋内においては特記がなければ、F☆☆☆☆製品とし、屋外においても低VOC塗料の使用に努めること。

長さ 1m 以上の入線しない電線管には電線太さ 1.2mm 以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。

スイッチ・コンセント及びプルボックスで用途の判別し難いものは、表示する。

地下埋設の線路には、保護シートを2倍長以上重ね合わせて布設するものとする。

電力用（矢指色：赤色） ・樹脂製 ○コンクリート製 ○鉄製
通信用（矢指色：黄色） ・樹脂製 ・コンクリート製 ・鉄製

⑰ プレートの材質

⑱ 露出配管等の塗装

20. 呼び線

㉑ 表示

㉒ 地中線埋設シート

㉓ 地中埋設設備
(GL-600の割合)

㉔ 地中埋設設備

㉕ 根切り深さ

根切り深さが1.5m未満の場合は直掘り工法とし、1.5m以上の場合には法付工法とする。
法付工法の法幅は、根切り深さに0.3を乗じたものとする。

床掘幅は、埋設管類などの外径（底面）の寸法にゆとり幅×2を加えたものとする。

ゆとり幅（a）及び埋設管相互の間隔（b）は、下表を参照のこと。

ゆとり幅（a）	根切り深さ 1m未満	根切り深さ 1以上1.5m未満	根切り深さ 1.5m以上	埋設管の 呼び径	間隔（b） （左右・上下）
地中電線管類	0.2m	0.4m	0.3m	50以下	50mm
				150#	70mm
地下埋設物	0.5m	0.5m	0.5m	200#	100mm

特記事項

②③ 建設副産物の処理について

資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。
また、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか建設副産物適正処理推進要綱に使い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。
有価物（スクラップ）については受注者責任の元、適切に処分を行うこと。処分を行った場合は、マニフェストと別に、有価物としての処分量が確認できる伝票等を添付すること。

指定副産物（原則として、再資源化施設へ持込むもの）

その他の副産物

○がれき類
(コンクリート塊)
(7スファルトコンクリート塊)
木くず
建設発生土
汚泥

○廃プラスチック
ガラス・陶磁器くず
廃石こうボード
○金属くず
繊維くず

特別管理産業廃棄物

・廃石綿等
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課
「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」 環境省環境再生・資源循環局に使い、収集・運搬・処分を行うこと。

・廃PCB等

「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に使い、報告書を作成し届出を行うこと。また廃PCBについては、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

建設副産物の処理内容

処理内容	備考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

40. 参考取付高さ

① その他

建築工事の手引き（電気設備工事編）による。

・ 廃蛍光灯および廃水銀灯は、水銀使用製品産業廃棄物として処理すること。

○ 停電を伴う工事は、施設管理者と事前協議を十分した上で実施すること。

○ 施工の際は、分電盤が回路を遮断すること。

・ 建築足場等により、自動点滅器が影に入る場合は、必要に応じて仮設置を行うこと。

・ 本工事は、連休2日促進工事対象である。（詳細は現場説明書による。）

・ 入札時積算数量書活用方式対象工事である。

・ 余裕期間制度対象工事である。

・ 情報共有システム対象工事である。

・ 快適トイレ対象工事である。

○ 残された既存竣工図・資料等に頼らず、施工前に現場調査を行い既存の把握を行うこと。

26. 構内交換設備
工事範囲

・ 構内交換装置 ・ 電話機取付け

27. 構内情報通信網設備
工事範囲

・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 ・ 配線のみ本工事

28. LANケーブルの種類・色

・ 幹線LAN（CAT6A）：赤色 ・ 認証ネットワーク：指定なし ・ その他：指定なし

29. ガス漏れ警報装置
検知器

・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス用

30. 監視カメラ設備
工事範囲

・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事

31. 防犯設備工事範囲

・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事

32. 入室管理設備
工事範囲

・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事

②④ 躯体貫通場所

躯体貫通箇所においては探査機を使用し、コンクリート内配筋を避け貫通すること。

②④ 発電機回路コンセント

発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。
プレート色は監督員の指示による。
※既設プレートにテプラ付け等にて表記のこと。

②⑤ マンホール
ハンドホール蓋

蓋中央部に県章を刻印すること。また、用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刻印をすること。

②⑥ ブルボックス

屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。

②⑦ 撤去後の補修

機器類の撤去後の取付ボルト孔、変色等は監督員指示により補修を行う。

②⑧ 屋外の支持金物

屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、溶融亜鉛メッキ仕上げ又はステンレス鋼製とする。

工事名称

大木町総合体育館空調設備等機能改善工事

橋尺

A-1

1/200

図面No.

E-01

図面名称

電気設備 特記仕様書

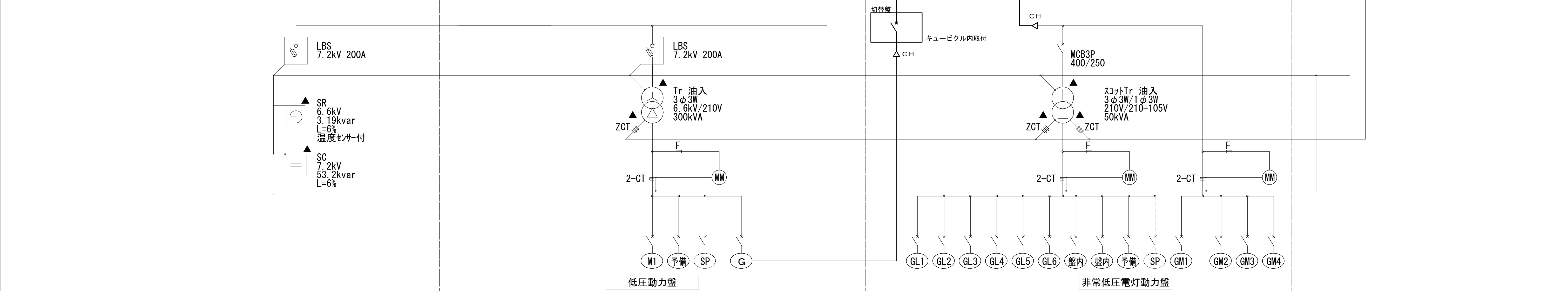
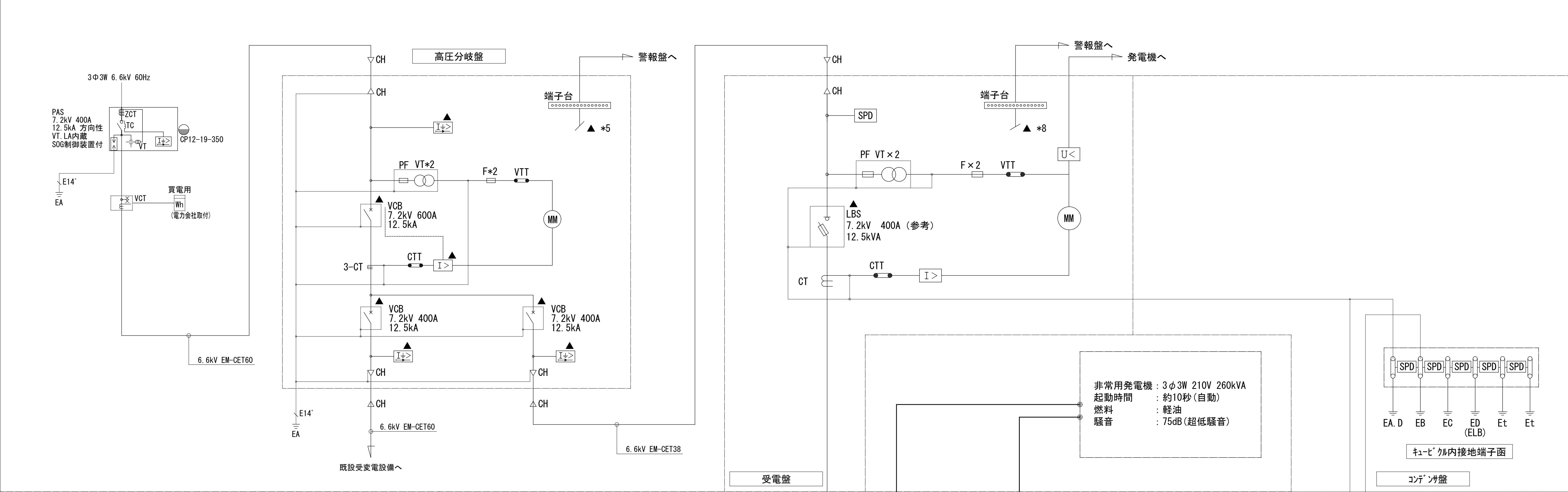
A-3

1/400

日付

ユニオン設計株式会社
Union Architects Office

〒810-0022 福岡県福岡市中央区菜院1-6-5
一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士 大臣登録第112802号 河原 廣男



高圧分岐盤 屋外用










受変電設備 屋外用 連結型 分割搬入






非常低圧電灯動力盤

注記事項 (姿図)

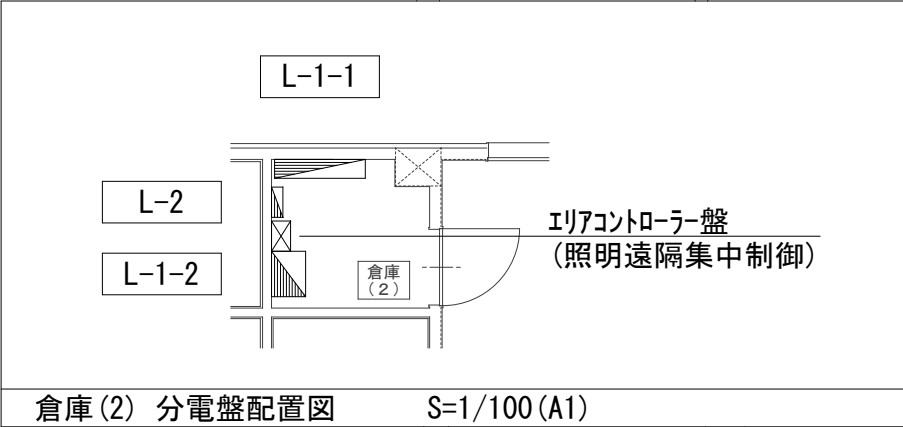
- 基礎は別途工事とする。
- 寸法は参考とする。
- 寸法は「NOSCALE」とする。
- その他は別図参照とする。

凡 例			注記事項		低圧動力盤		非常低圧電灯動力盤		
備 考	記 号	名 称	備 考	◆ 高圧分岐盤・本受電盤の共通事項	配電盤名称	幹線No.	負荷名称	遮断器容量	負荷容量 (kW)
				■ 公共工事仕様。標準色。消防長告示7号適合品。	低圧動力盤	M1	M-2 (空冷空調設備)	MCB3P 225/200	39.0
	L A	避雷器		■ 底部に防振ゴムを施す。		予備	予備	MCB3P 100/100	
				■ 底部に底板を設置。		SP	SP	MCB3P 225/	
	C H	ケーブルヘッド		■ 各盤の前後にドアスイッチにて自動点灯するLED照明を設置。					
	D S	断路器		■ サモ連動の換気扇 (雨避け防虫網付) を設置。					
	V T	計器用変圧器		■ 警報電源にはニッケルカドミウム蓄電池 (10分間) を設置。					
	C T	計器用変流器		■ 低圧電灯盤には保守用コンセントを設置。		G	発電機	MCB3P 1000/1000	143.2
	F	ヒューズ		■ 計器類は全て電子式。				(参考)	
	P F	高圧限流ヒューズ		■ 表示灯は全てLEDとする。					
	L B S	高圧交流負荷開閉器	限流ヒューズ付・ストライク引外	■ 各計器の階級は下記とする。					
	P C	高圧カットアウトスイッチ	限流ヒューズ付	力率計:5.0級以上、周波数計:1.0級以上、その他:1.5級以上					
				■ 警報については図中▲を取り込むものとし、一括にて警報盤へ移報出力するものとする。					
	T R	油入変圧器 (トランスラナー)	ダイヤル温度計・防振ゴム付	■ 単線結線図は扉裏面に表示 (ラミネート加工)					
	S C	進相コンデンサ	放電抵抗内蔵	■ 鍵の仕様は監督員と協議の上決定とする。					
	S R	直列リアクトル		■ 屋外用。					
	Z C T	零相変流器		■ 耐震設計標準震度は1.0Gとする。					
				■ 側面の通気孔には雨避けカバーを設置。					
				■ DS, VCB/LBSは相間バリ74枚付とする。					
				■ LBSはストライク付とする。					
			■ 低圧盤の予備用遮断器が225AF以上の時は、定格電流可動型とする。				182.2		
			■ 高圧進相コンデンサ及び高圧直列ユニットは油入とし、温度種別Bとする。				182.2 (kVA) *1.25 ≒ 227.8 (kW)		
			■ 変圧器容量は扉裏面に表示 (刻印式)						

幹線設備 機器凡例		
凡例	機器名称・仕様	
	引込柱	仕様は傍記参照
	電灯分電盤	仕様は別図参照
	動力分電盤	仕様は別図参照
	警報盤 10窓 銅板製 壁掛型	
	①キュービクル一括 ②発電機運転(ランプのみ)	
	③発電機故障 ④高圧分岐盤一括	
	⑤チャユニット(AHP-1)発停⑥チャユニット(AHP-2)発停	
	⑦～⑩予備	
	空冷HP集中リコン	BOX・空配管本工事
	モジュールコントローラー	BOX・空配管本工事
	P. B. SUS	
	P. B. SUS. WP	
	※受変電設備1次側引込みケーブル用ケーブルボックスは、マニ焼付指定色塗装とする。	
	ABC粉末 10型消火器 格納箱共	
	Asはつり・補修範囲を示す(本工事)	

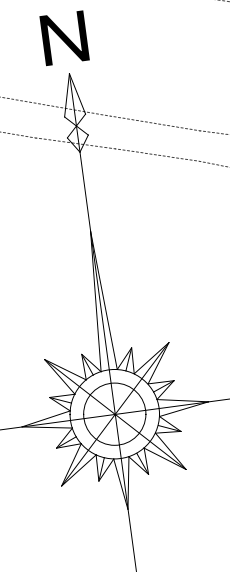
配線凡例					
凡例	配線種別・乗数	打込	隠蔽	屋内露出	屋外露出
	EM-EEF2.0-3C(1E)	22	22	22	22
	空配管(PF16)	16	16	16	16
	打込(CD)			屋内露出(E)	
	天井ころがし			屋外露出(G)	
	床ころがし			埋設(FEP)	

* 外壁露出電線管は外壁からの支持を4m毎に取ること。



既設受変電設備、発電機の改修なし
※既存発電機からの電源供給は消火設備のみとする。

大木町子育て交流センター



水路

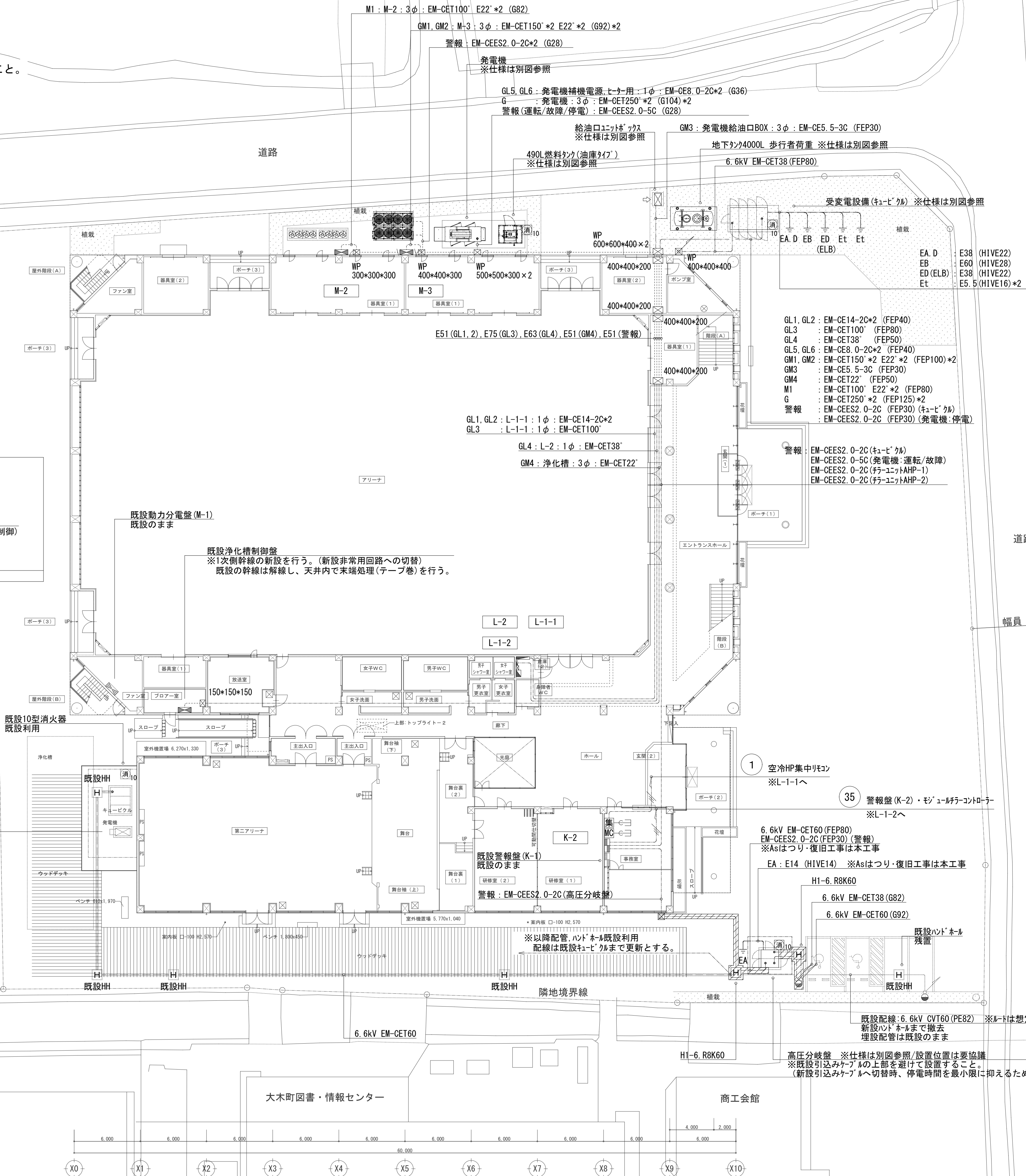
大木町役場

大木町図書・情報センター

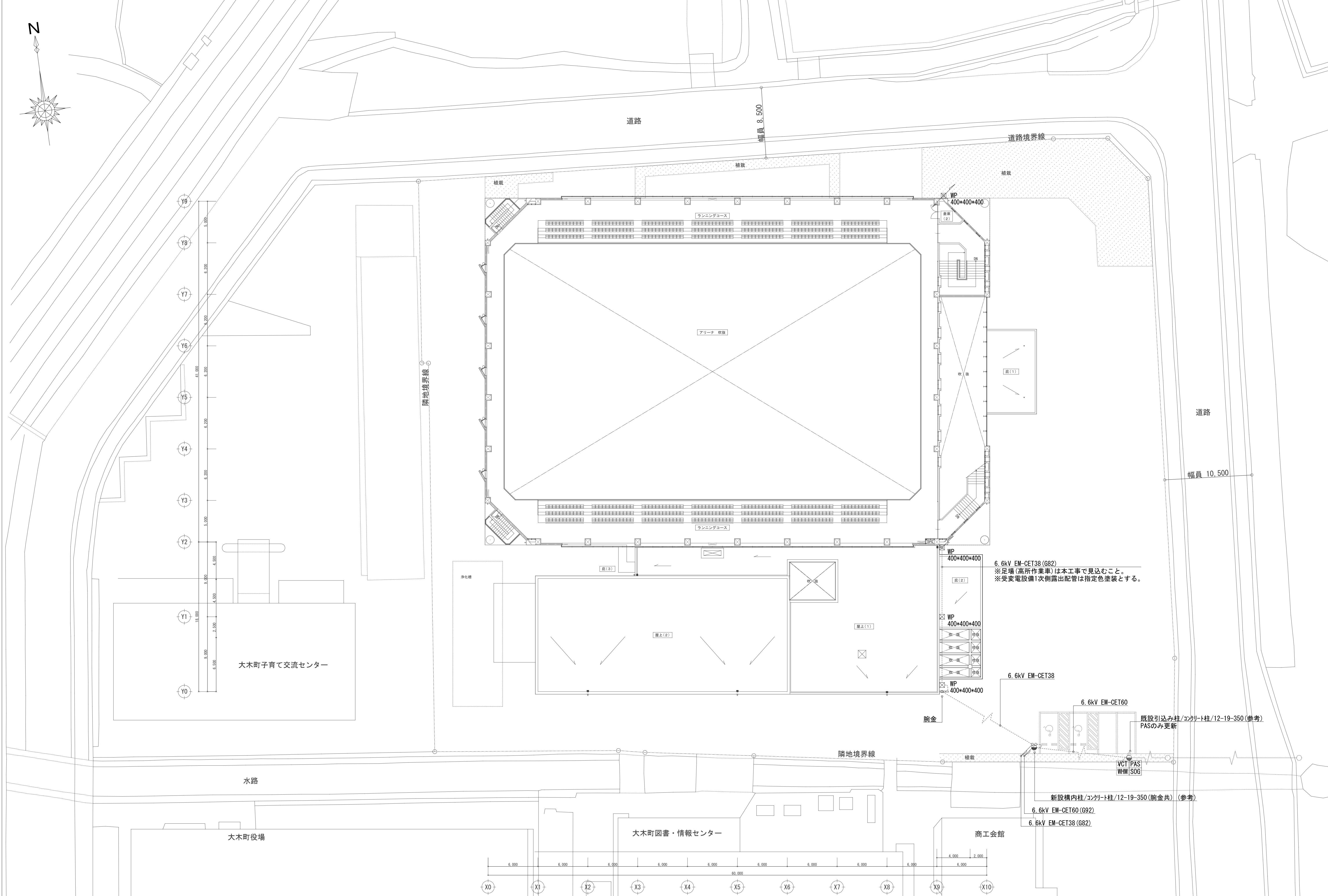
商工会館

道路

幅員 10.500



- 1 空冷HP集中リコン
※L-1-1へ
- 35 警報盤(K-2)・モジュールコントローラー
※L-1-2へ
- 6.6kV EM-CET60(FEP80)
EM-CEES2.0-2C(FEP30)(警報)
※Asはつり・復旧工事は本工事
EA:E14(HIVE14) ※Asはつり・復旧工事は本工事
- H1-6.R8K60
6.6kV EM-CET38(G82)
6.6kV EM-CET60(G92)
- 既設ハンドホール
残置
- 既設配線:6.6kV CVT60(PE82) ※L-1-2は想定
新設ハンドホールまで撤去
埋設配管は既設のまま
- 高圧分岐盤 ※仕様は別図参照/設置位置は要協議
※既設引込みケーブルの上部を避けて設置すること。
(新設引込みケーブルへ切替時、停電時間を最小限に抑えるため)

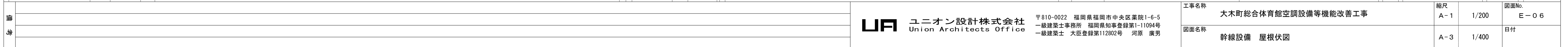


備考					工事名称 大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺 A-1	1/200	図面No. E-05	
						図面名称 幹線設備 2階平面図	A-3	1/400	
								日付	

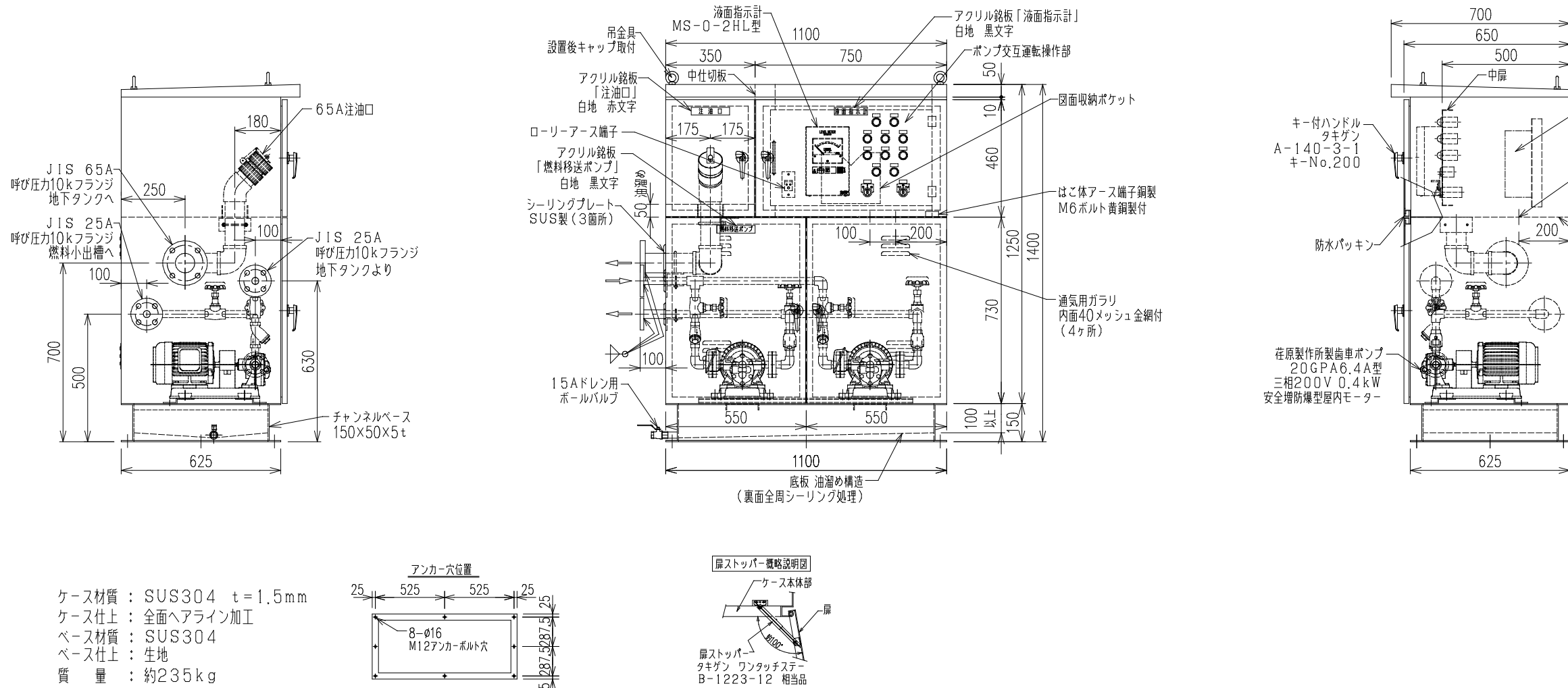
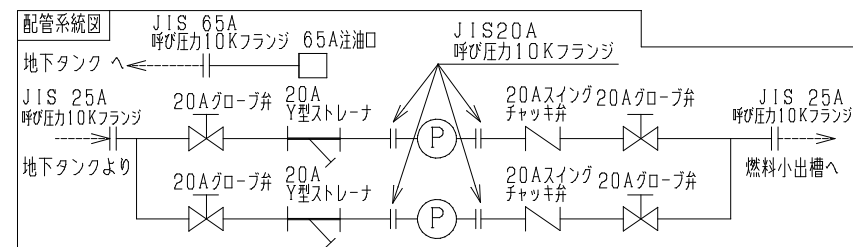


ユニオン設計株式会社
Union Architects Office

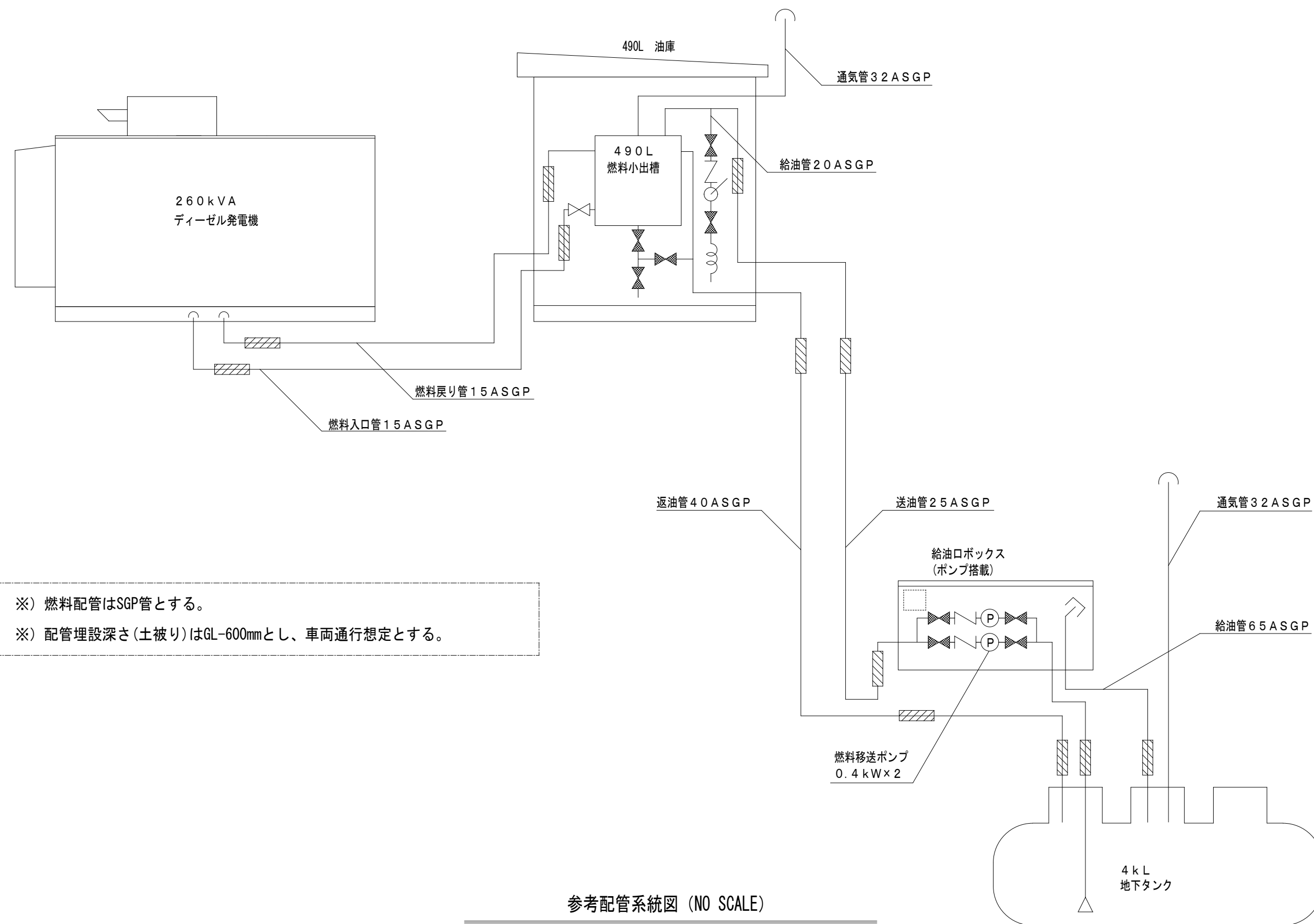
〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士 大臣登録第112802号 河原 廣男



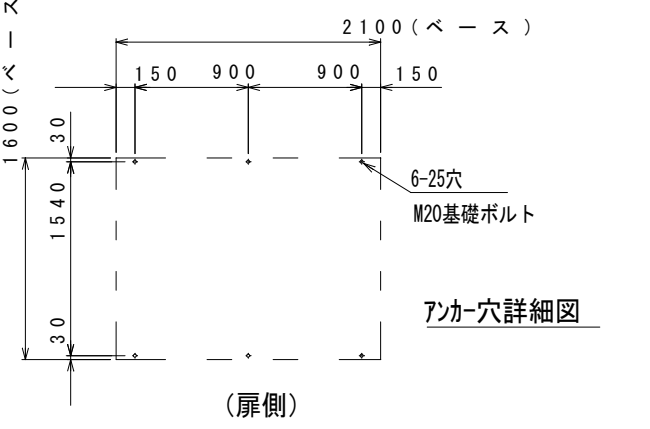
ポンプ操作部スイッチ、ランプ類詳細



給油口ユニットボックス 参考外形図 (S=1/15)

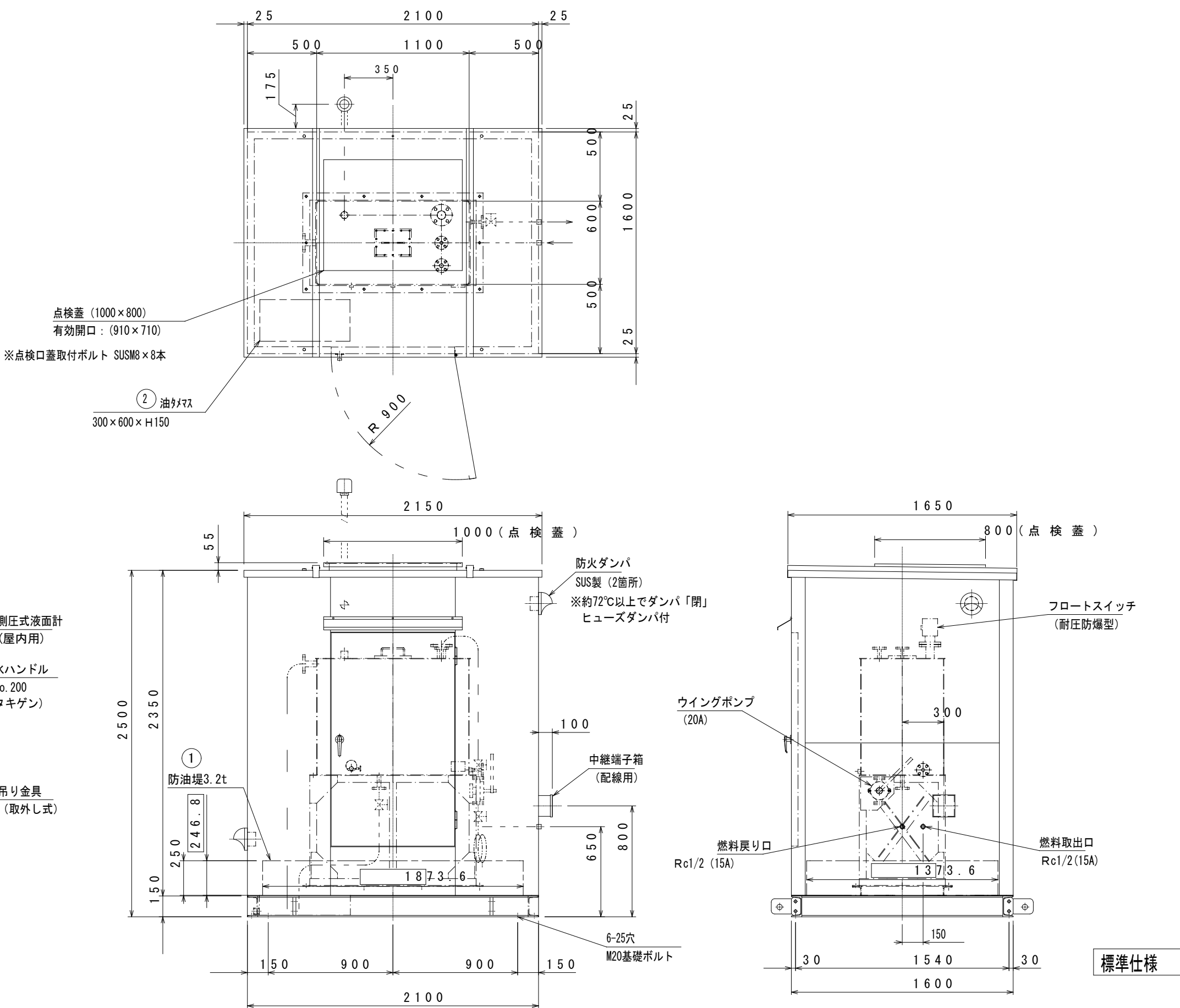


参考配管系統図 (NO SCALE)

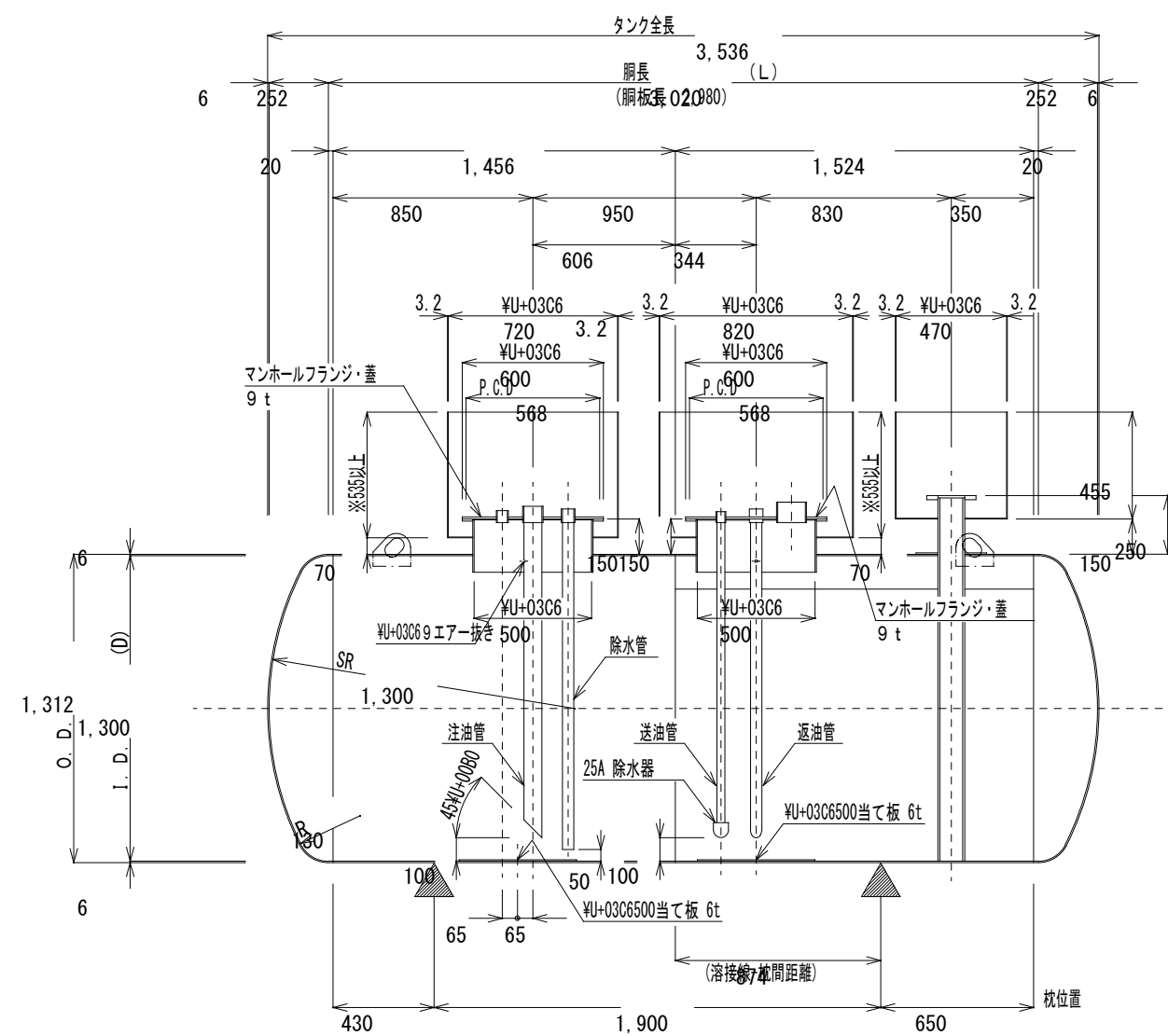
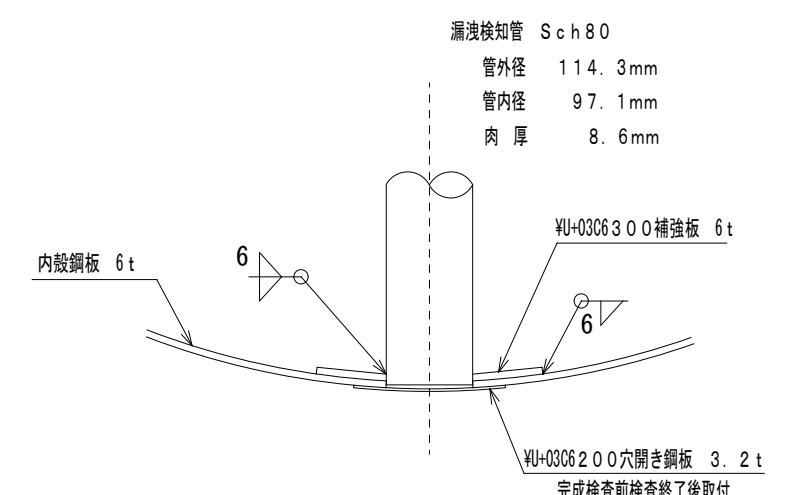
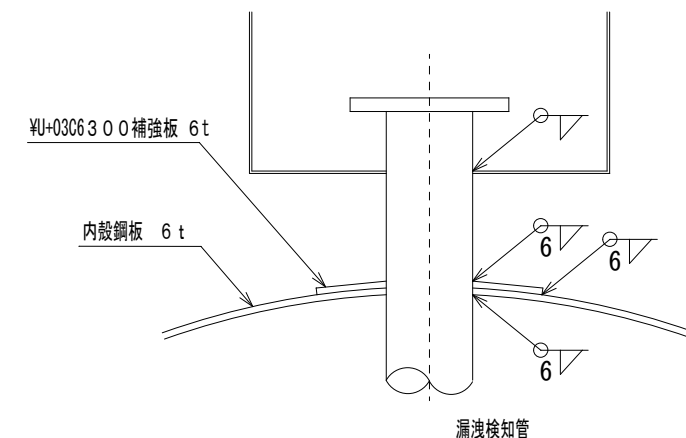
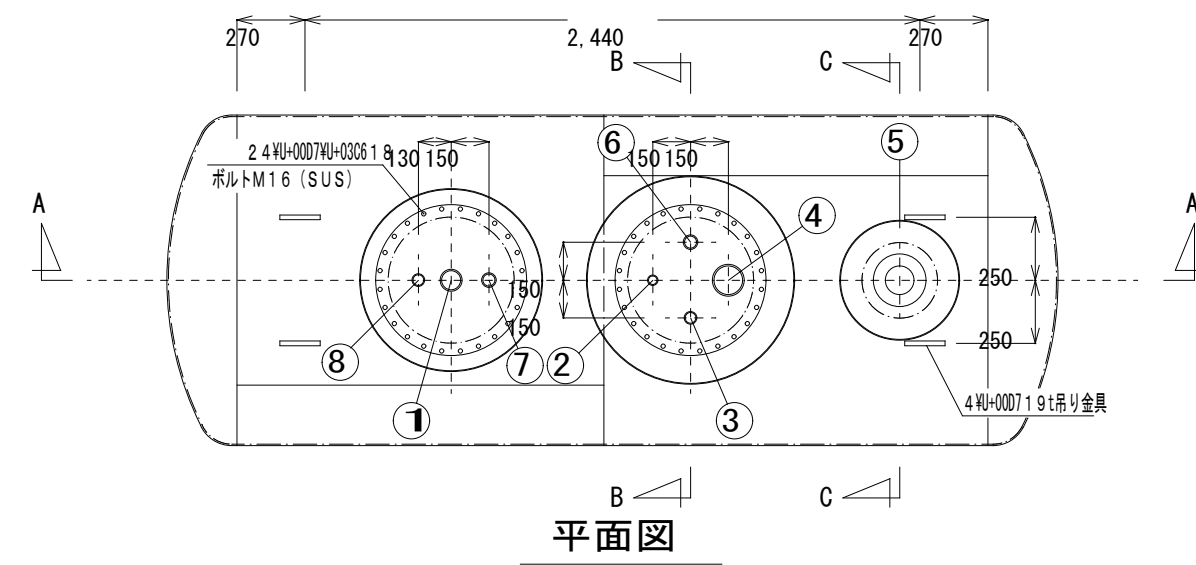
$$\begin{aligned} & \left\{ \frac{(1873.6 \times 1373.6 \times 246.8)}{(300 \times 600 \times 150)} \right\} \div 10 = 662.6 \text{ L} \quad \textcircled{1} \\ & = 662.1 \text{ L} \quad \vdots \dots \textcircled{2} \\ & \times 662.1 \text{ L} > 539 \text{ L (幼カ容量} \times 1.1) \end{aligned}$$


塗装色 :	5Y7/1 半つや	
	取付面ベース: 同上	
材 質 :	ボンネット鋼板	SECC t2.3
	タタ防油板	SEHC t3.2
	ベース	SS400 150X75×t6.5
重 量:	パッケージ	520kg
	ベース、防油堤	430kg
	タタ、架台	225kg
	配管材料等	50kg
	合計 (乾燥時)	約1,225kg
	燃料油 (490 L)	416.5kg (燃料油)
	総合計 (満油時)	約1,645kg

少量危険物扱い

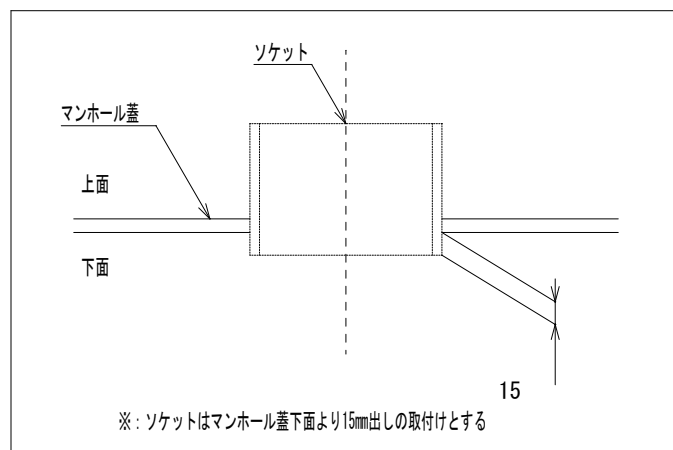


490L燃料タンク 参考外形図（油庫タイプ）（S=1/30）



※ 埋設深さにより決定する。

マンホール蓋ソケット取付概要図



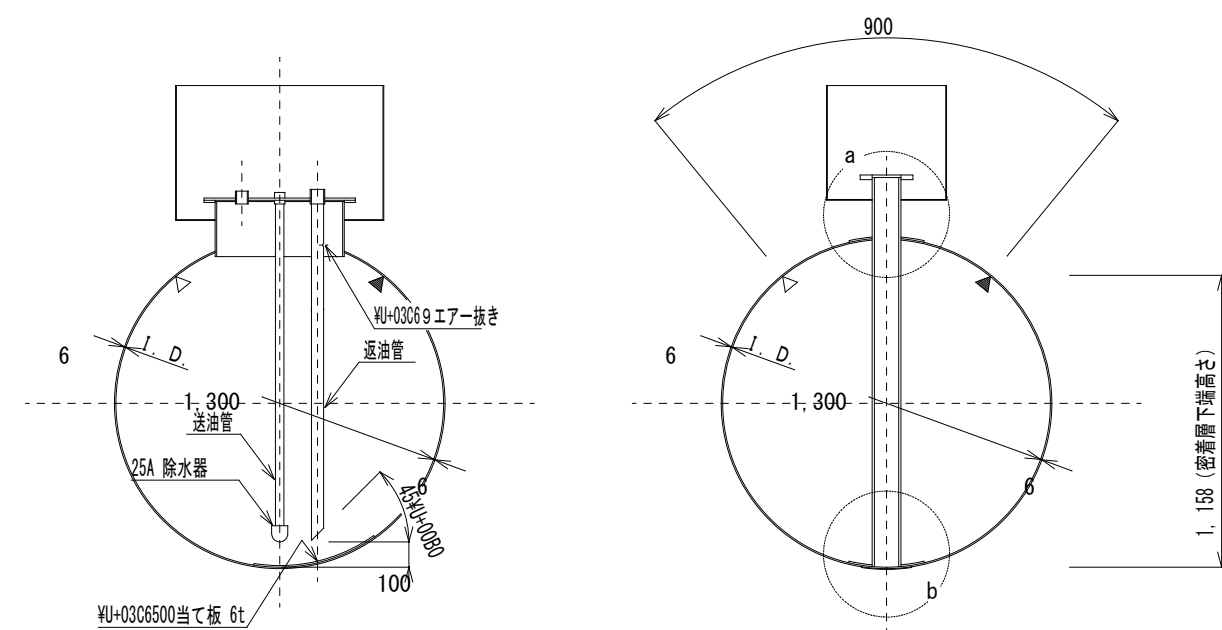
ノズル明細表

NO	名 称	口 径	フランジ形状、材質	パイプ規格	備 考
①	注油口	65A	ソケット	SGP	直下径φ500当て板 6t、送油管付
②	送油口	25A	ソケット	SGP	送油管、除水器付
③	通気口	32A	ソケット	_____	
④	油量計口	100A	ソケット	_____	
⑤	油液検知管	100A	10K SGP-FF	STREPTO SeisBo	
⑥	排水口	40A	ソケット	SGP	直下径φ500当て板 6t、送油管付
⑦	除水口	40A	ソケット	SGP	除水管付
⑧	計量口	32A	ソケット	_____	直下径φ500当て板 6t

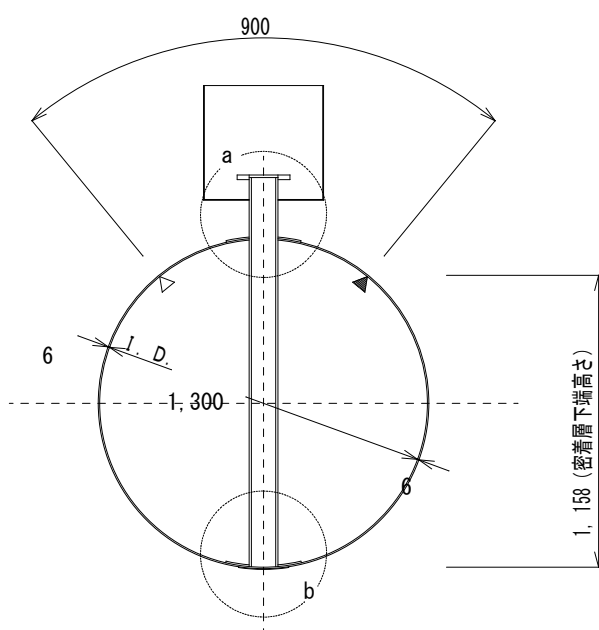
材質：SS400

注記)

銅板巾について、1524巾原板の場合は本図通りとし、3048巾原板の場合は1524巾2枚分を3048巾1枚に置換え可とする。又、銅板の軸方向溶接継手は隣り合う銅板と重ならないよう接合し、本図と左右勝手違いも可とする。



B-B断面图



C-C断面図

▲ 印は、当該鋼板の溶接継手をあらわす。
△ 印は、隣接鋼板の溶接継手をあらわす。

容量計算書

($\pi=3.14$)

全容量	100%
-----	------

$$\begin{aligned} & (\pi \times \frac{1}{4} \times 2 \times L) + (0.09896 \times D^3) \times 2 \\ & (\pi \times 0.650^2 \times 3.020) + (0.09896 \times 1.300^3) \times 2 \\ & = 4.441 \text{ KL} \end{aligned}$$

4,441L

実容量	4,000
-----	-------

4,000L

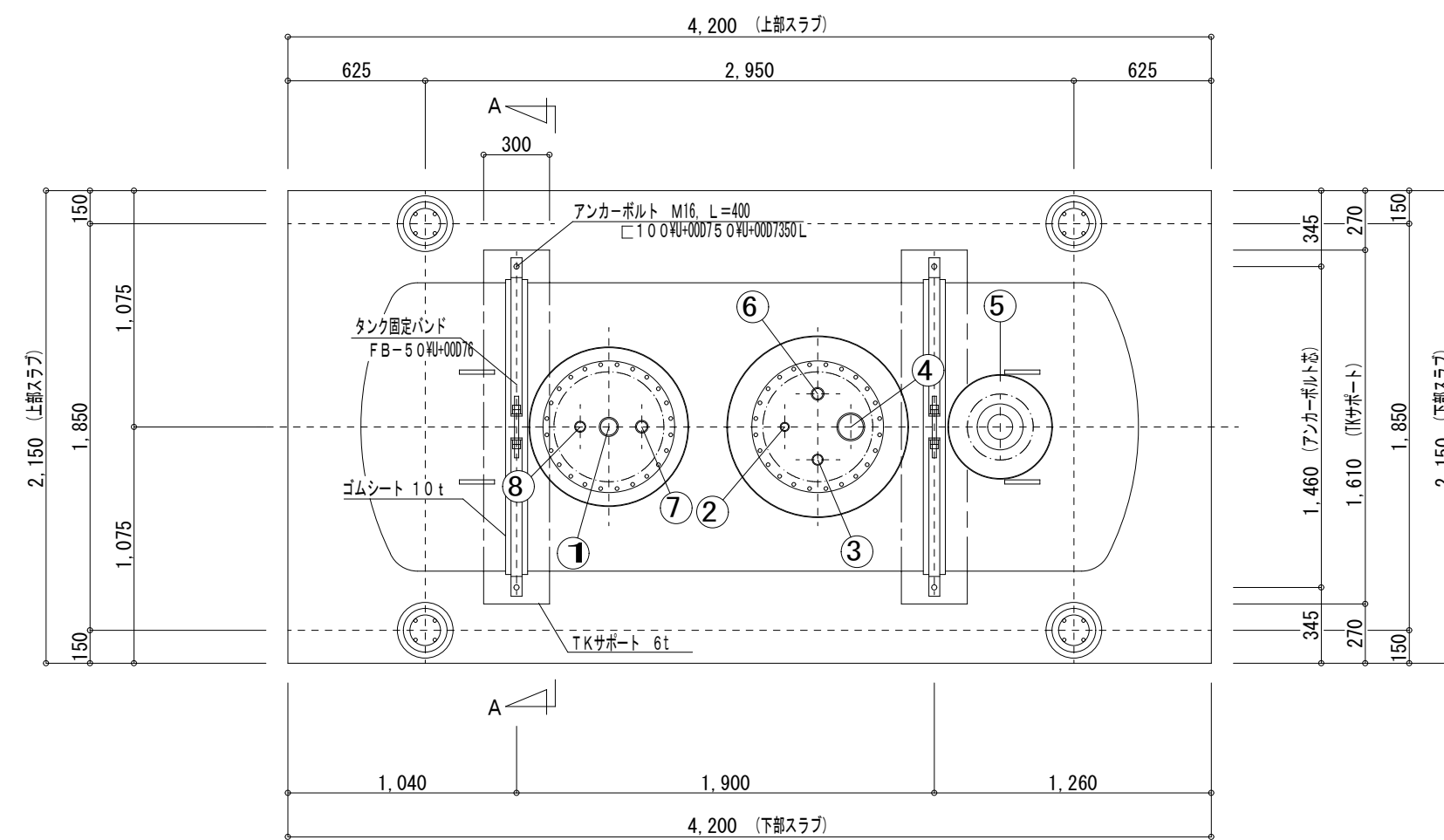
空間容量

全容量—实容量

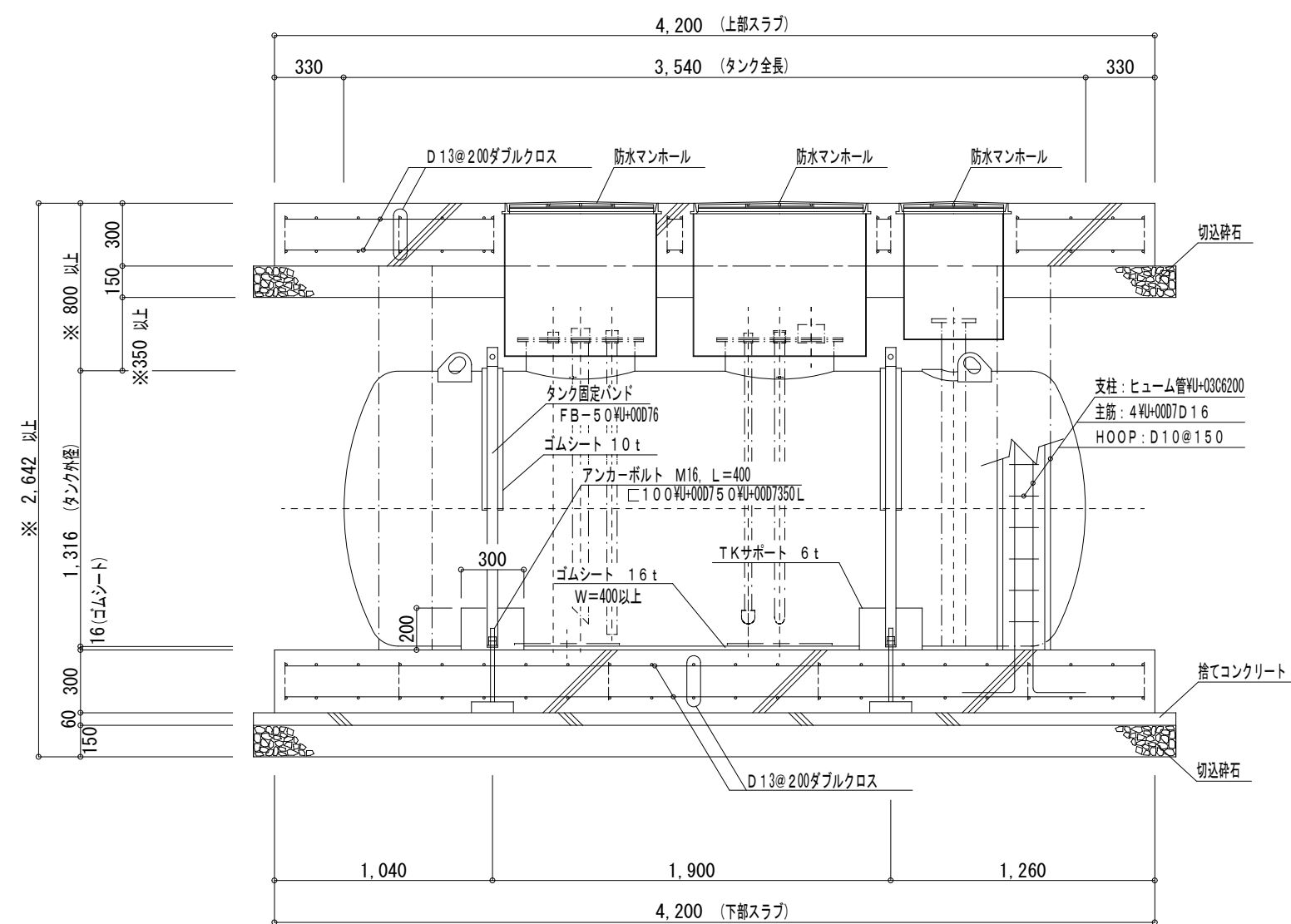
$$4,441 - 4,000 = 441$$

441¥U+00F74, 441÷0.0993

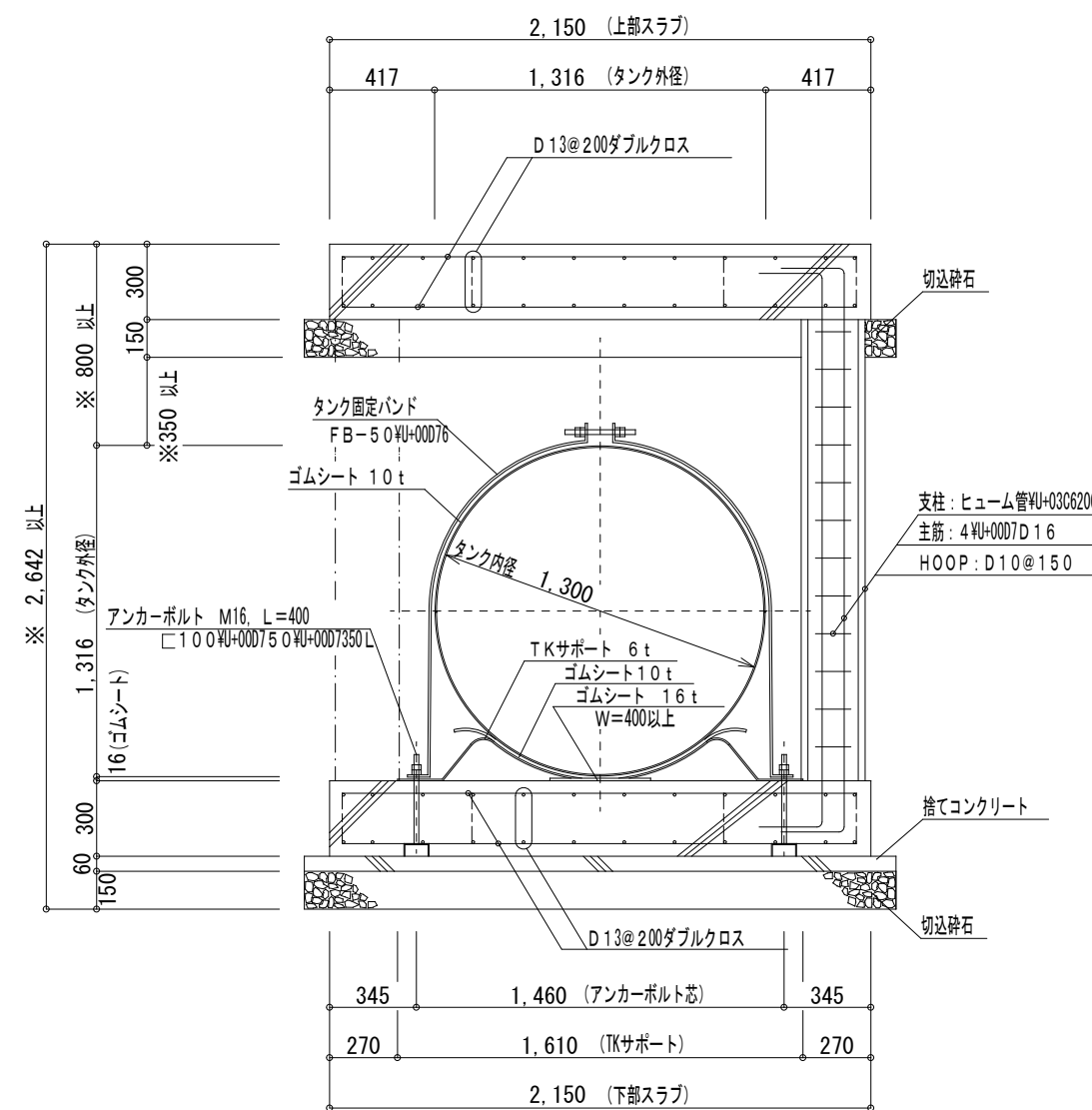
9.93%



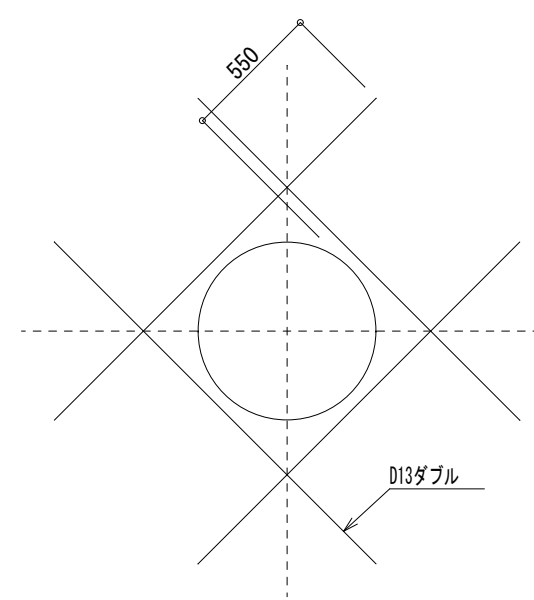
平面図



側面図



A-A 断面区



開口部補強要領

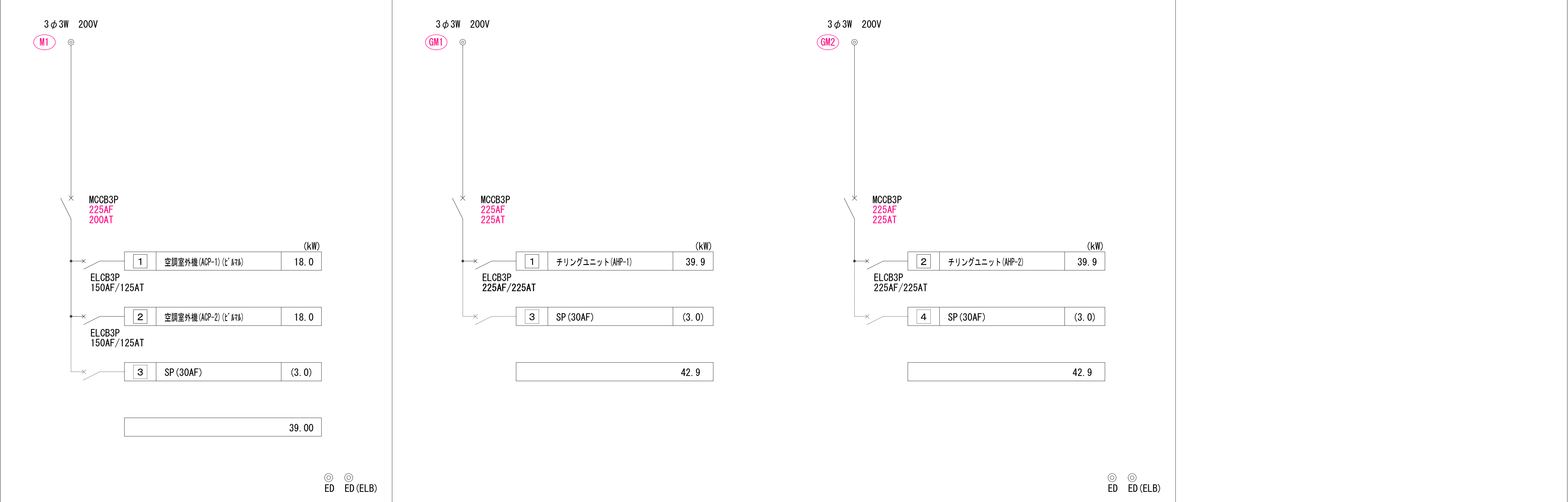
ノズル明細表

NO.	名 称	口 径	フランジ種類、形状
①	注油口	65A	ソケット
②	送油口	25A	ソケット
③	通気口	32A	ソケット
④	油量計口	100A	ソケット
⑤	漏洩検知管	100A	10K SOP-FF
⑥	返油口	40A	ソケット
⑦	除水口	40A	ソケット
⑧	計量口	32A	ソケット

※埋設深さは、現場の油配管勾配により決定すること。

注) タンク付近は火気厳禁の事

地下タンク 参考躯体構造図 (S=1/30)

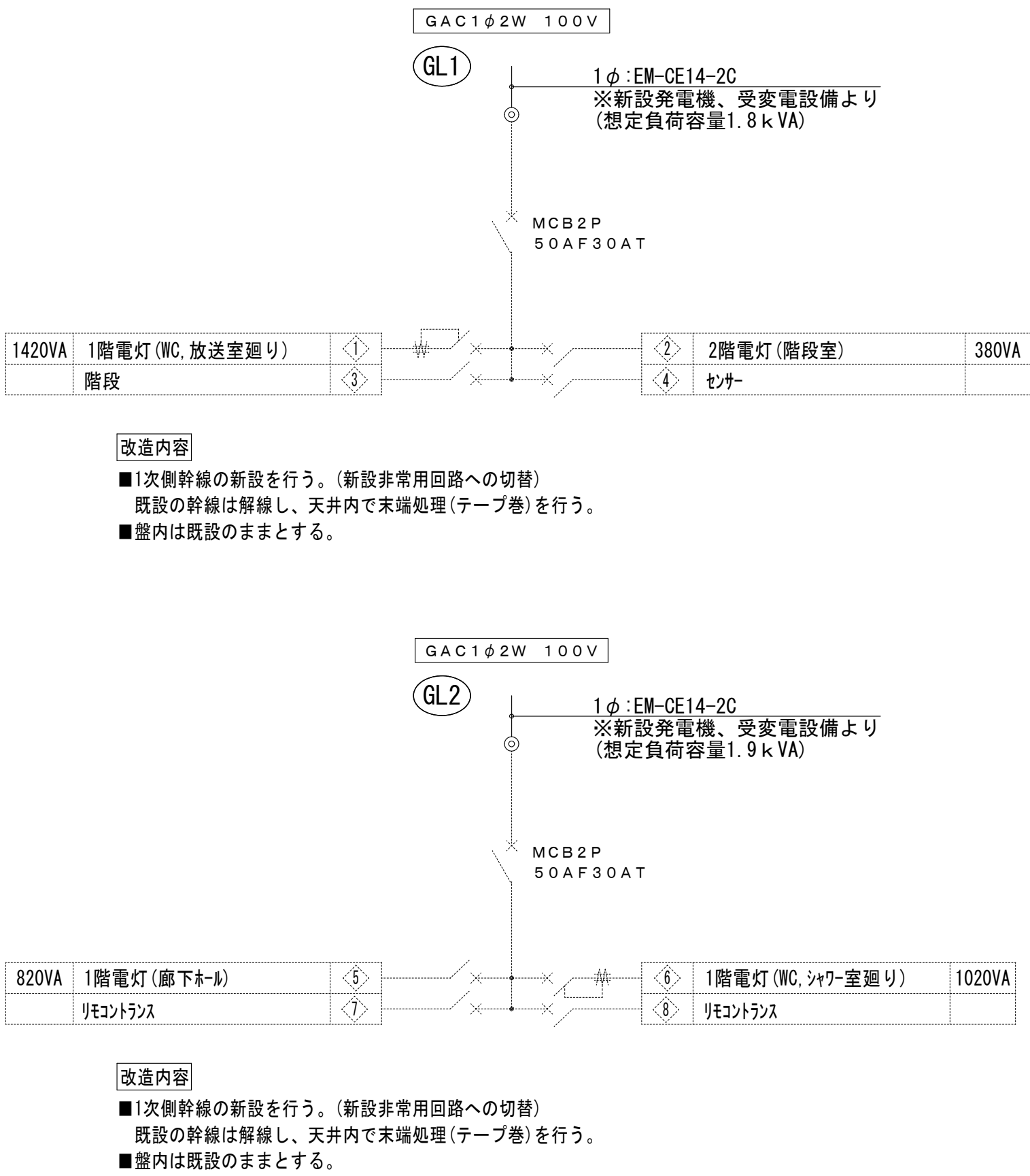




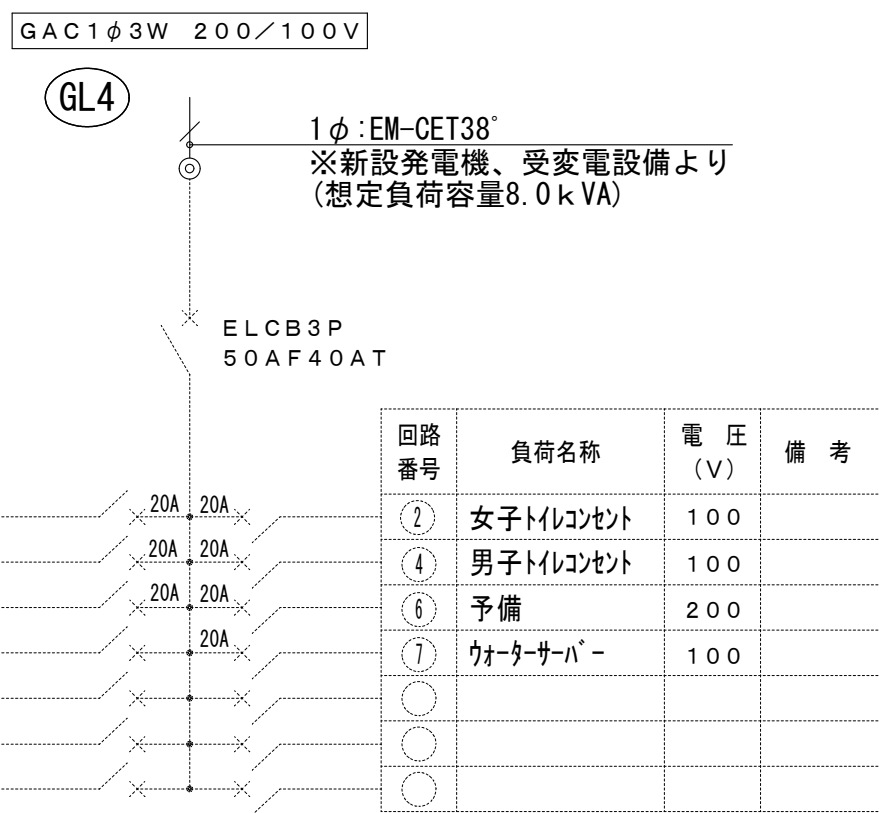
改造内容

- 回路番号17, 18のMCB2P50/30 (200V)、1のMCB2P50/20 (100V) を撤去する。
- 回路番号1, 10のMCB2P50/30 (200V)、12, 13, 14, 2, 28のMCB2P50/20 (100V) は既設のままとする。
- 上記回路 (1, 10, 17, 18, (200V)、12, 13, 14, 1, 2, 28 (100V)) の盤内配線は全て撤去とし、盤以降の2次側配線は天井内にブランチボックスを設置し、非常用回路からの新設配線と結線をし電源供給を行う。
- ルンで制御を行っている回路はルンまでの配線の撤去を行う。
- 改修前の回路番号1 (200V)、1, 2 (100V) の盤内のリモコン制御 (リモコンリレー、T/U、リモコンリレー、伝送ユニット) は既設のままとし、リモコン制御の2次側配線は既設利用とする。
- 1次側のみ非常用回路 (回路番号21, 33, 36) から新たに配線を行う。
- 回路番号17, 18はMCB2P50/20 (200V) を新設し、それぞれ新設空調機ACP1-1 (室内機)、ACP2-1 (室内機) に使用する。
- 回路番号1はMCB2P50/20 (100V) を新設し、空冷HP集中リモコンに使用する。
- 盤以降の配線は別図参照とする。

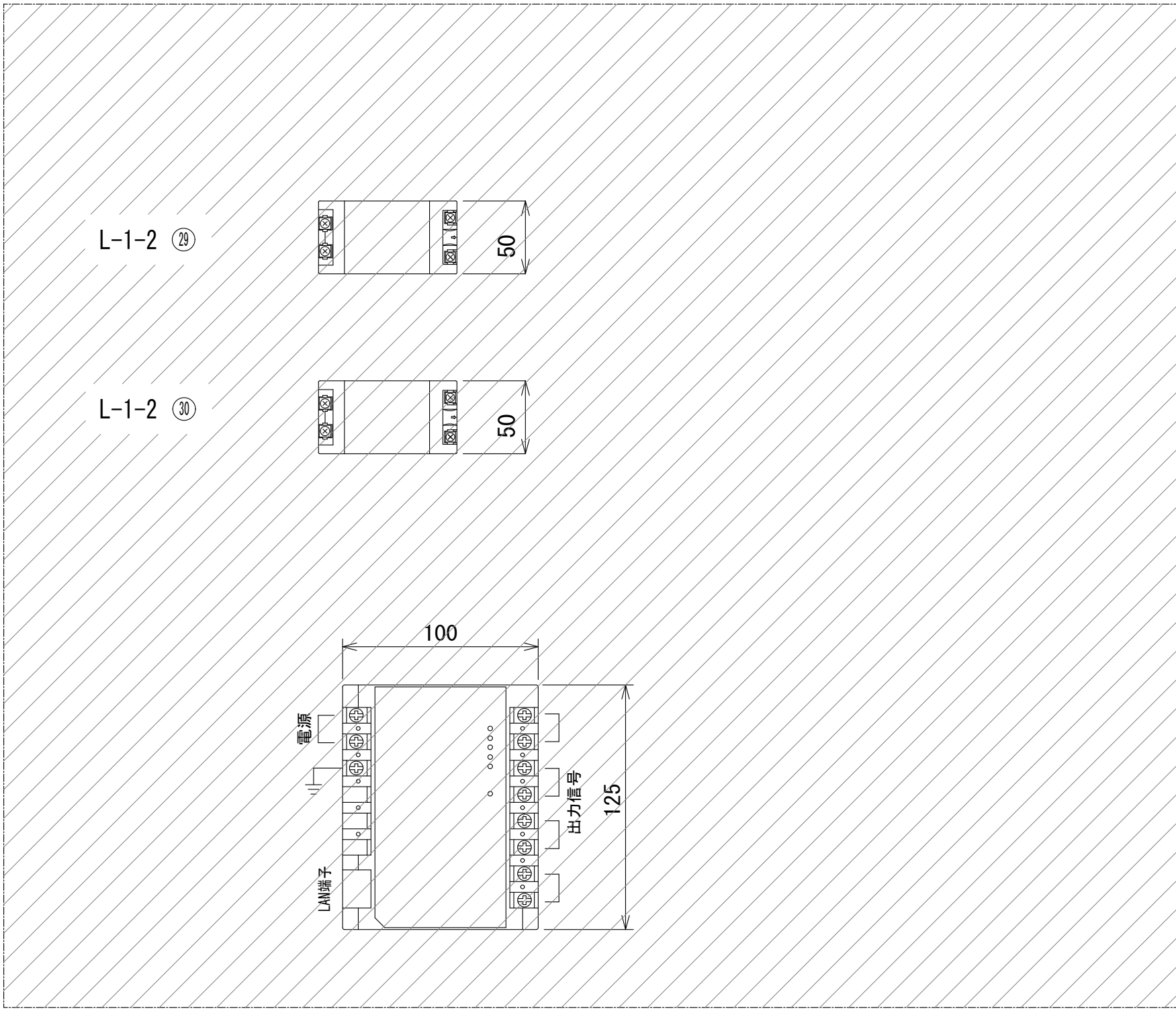
既設L-1-1分電盤結線図



既設L-1-2分電盤結線図



既設L-2分電盤結線図



既設エリアコントローラ盤

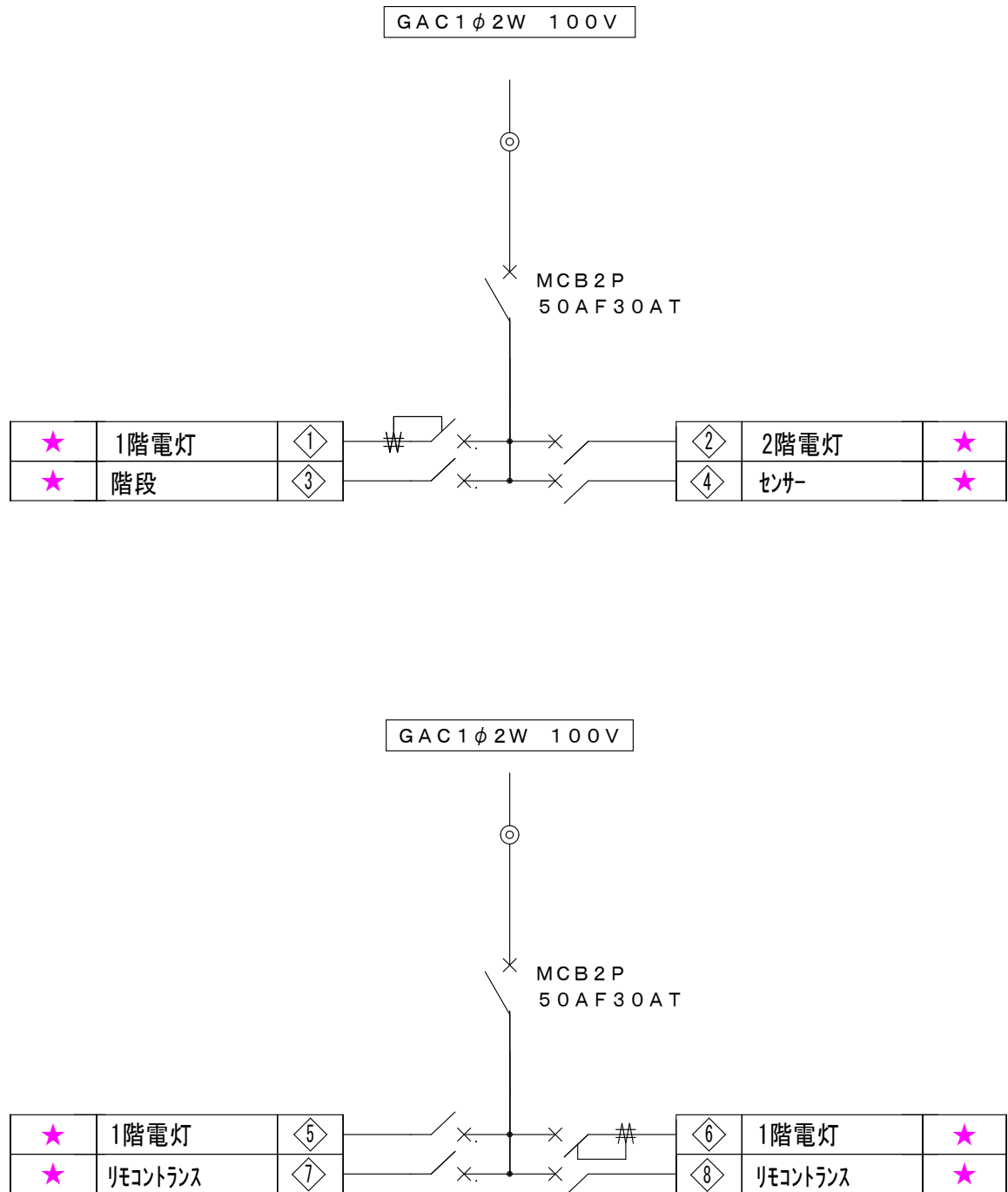
※既設のまま

- 注記 1) 実線部は新設を行う配線・開閉器を示す。(各分電盤共通)
- 注記 2) 7-ス線は既設利用とする。尚、接地抵抗値の測定検査を本工事にて実施すること。



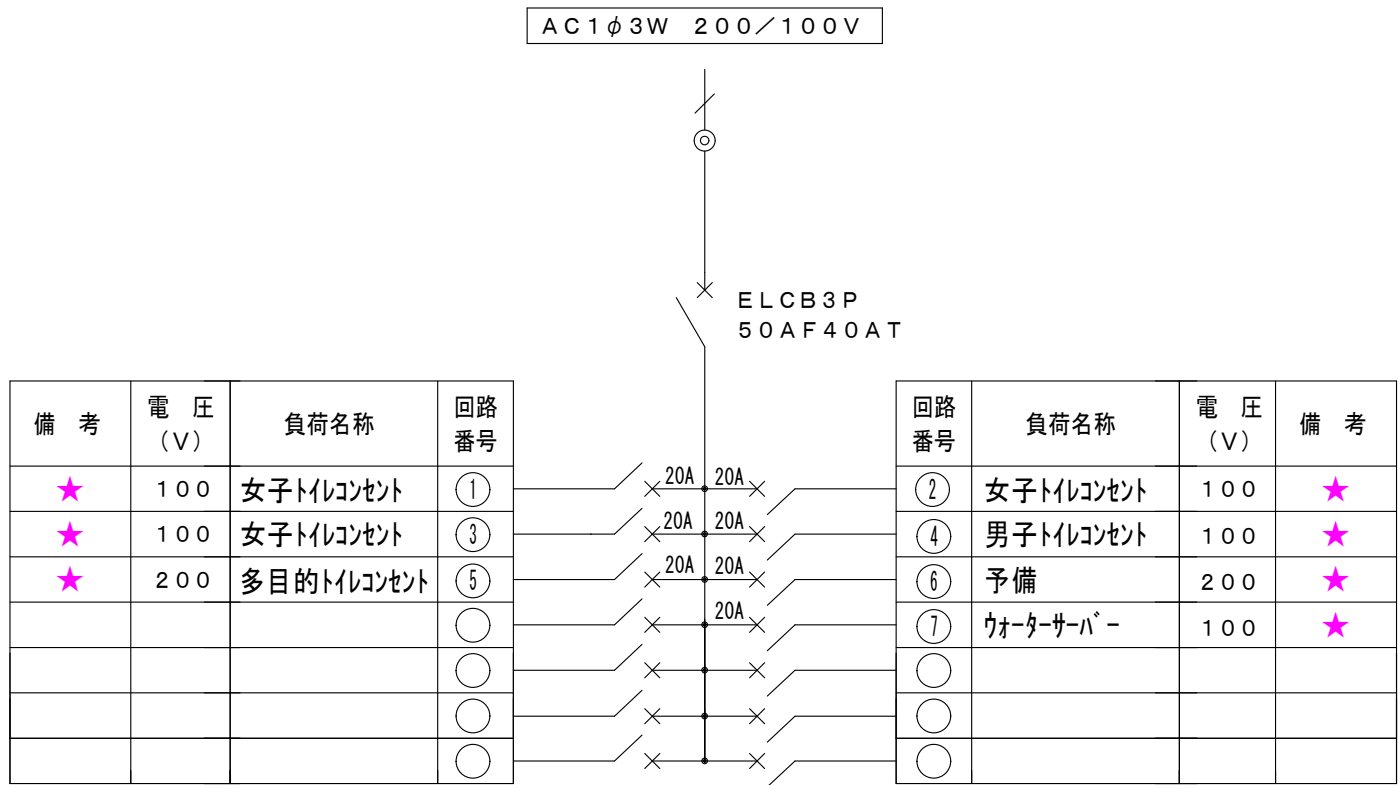
既設L-1-1分電盤結線図

★：新設発電機回路へ改修を行う



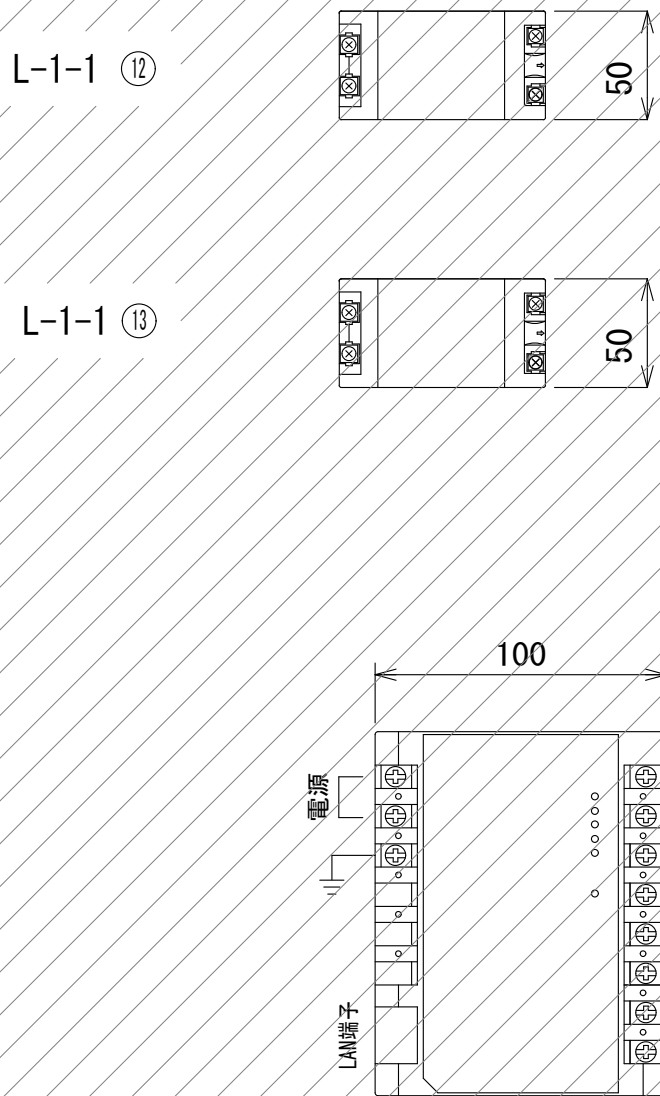
既設L-1-2分電盤結線図

★：新設発電機回路へ改修を行う



既設L-2分電盤結線図

★：新設発電機回路へ改修を行う



既設エリアコントローラ盤

※既設のまま

